

平成22年度大学図書館近畿イニシアティブ  
基礎研修「初任者研修」

# 研修 2

## 目録・分類業務

神戸大学附属図書館 菊池 一長  
kikuchi@lib.kobe-u.ac.jp

# 0. 目録と分類

## ◆ 「資料組織」

- ・ 図書（資料）を「利用できる」ようにするための様々な作業のこと
- ・ 目録作成、分類作業

※ 「利用できる」 図書を持っていなければ図書館たりえない。

- ・ ≡ 「整理」  
…より広い定義、受入や配架作業なども含む

☆本講では、この「資料組織」について扱います。

# 1. 目録とは

## ◆目録とは（一般的な定義）

- ①書物の中の内容の見出しを順序立ててならべたもの。  
目次。
- ②所蔵・出品されているものの品目を整理してならべたもの。  
「蔵書ー」「在庫ー」「財産ー」

広辞苑より

## ◆図書館における目録とは（専門的な定義を簡単にいえば）

図書が

- ・どのようなものか（＝内容に関する記述）
  - ・どこにあるか（＝所在・配列に関する記述）
- を表し、
- ・検索できるものである。

## ◆ 目録情報の構成 …書誌と所蔵

- 書誌 …出版物としての図書の情報  
 タイトル、責任表示、版表示、出版事項（出版地、出版者、出版年）、形態事項（数量、大きさ、付属資料）、シリーズ名、注記、ISBN、分類、件名 など
- 所蔵 …図書館での所在情報、個別情報  
 館室、配架場所、請求記号、登録番号 など

渡来の民と日本文化：歴史の古層から現代を見る / 沖浦和光, 川上隆志著

出版者 東京：現代書館  
 出版年 2008.3  
 大きさ 238p：挿図；20cm  
 一般注記 参考文献：章末  
 著者標目 沖浦, 和光(1927-) <オキウラ, カズテル>  
 川上, 隆志 <カワカミ, タカシ>  
 件名 BSH:渡来人  
 BSH:兵庫県 -- 歴史  
 BSH:泰氏  
 分類 NDC8:210.3  
 NDC9:210.3  
 本文言語 日本語  
 コード類 書誌ID=21857065 NCID=BA8537076X

書誌の情報

巻次	配架場所	請求記号	資料番号	状態	コメント	ISBN	刷年
	社会科学系図書館開架室	210.3-OK	017200810777			9784768469545	
	国際文化学図書館開架室	210-3-O	067200810913			9784768469545	

所蔵の情報

## ◆図書館の目録の種類

### ・形態による区別

冊子体、カード、コンピュータ・オンライン…

※冊子目録→カード目録→オンライン目録へと、変遷

※オンライン目録

(Online Public Access Catalog=OPAC)

※冊子体、カード目録のコンピュータ目録への移行  
=遡及入力

### ・機能による区別

閲覧用（利用者用）、事務用…

### ・排列による区別（※検索キーによる区別）

著者、書名、分類、件名…



## ◆書誌記述と目録規則

目録規則とは、書誌を作成するのに必要な、記述する項目とその記述方法について定めたもの。

### ◇主な目録規則

- 日本目録規則 1987年版改訂版 (NCR87R)  
(1994年)
- 英米目録規則第2版 (AACR2)  
(1988年改訂、1993年修正)  
(Anglo-American Cataloguing Rules, 2nd Edition 1988  
Revision, Amendments 1993)
- Anglo-American Cataloguing Rules, 2nd Edition 2002  
Revision

## 2. 分類とは

### ◆分類とは

①種類によって分けること。類別

広辞苑より

### ◆書誌分類と書架分類

#### ▪ 書誌分類

…分類目録のデータを体系的に配列するための書誌上の分類

#### ▪ 書架分類（≡所蔵分類）

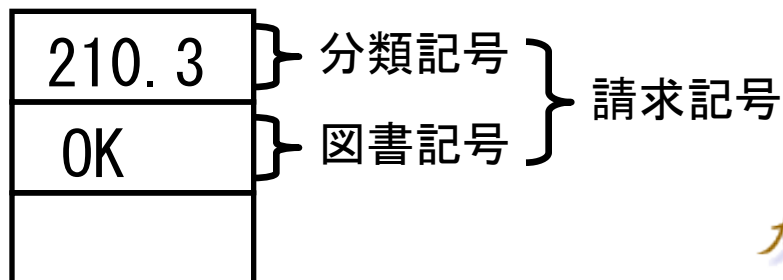
…図書資料を書架上に体系的に配列するための分類

## ◆図書館における分類作業

個々の資料の主題内容を把握して、適用する分類表に基づいて最も適切な分類記号を与え、さらに必要に応じて図書記号、別置記号を与え、書架に排列する一連の作業。

- 請求記号（所在記号）＝分類記号＋図書記号
- 結果として、類似の主題の図書が隣接して配架される。  
↓
- ただし、複数の主題を持っていても一か所にしか配架できない。  
同じ主題と思える図書が散らばってしまうことがある。

例) 渡来の民と日本文化 / 沖浦和光, 川上隆志著





## ◆主な図書分類表

- 日本十進分類法 (N D C)
- デューイ十進分類法 (D D C, D C)
- 国立国会図書館分類表 (N D L C)  
[http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/ndl\\_ndlc.html](http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/ndl_ndlc.html)
- 米国議会図書館分類表 (L C C)  
<http://www.loc.gov/catdir/cpsol/lcco/>
- 国際十進分類表 (U D C)  
<http://www.udcc.org/>
- 四部分類 (漢籍の分類法)

### 3. N I I と N A C S I S - C A T

#### ◆ 目録業務の変化

- ・ 冊子体、カード目録からコンピュータ・オンライン目録へ
- ・ 各図書館個別の目録作業から、書誌ユーティリティを利用した、オンライン共同分担入力方式へ

#### ◇ 書誌ユーティリティ

- ・ 多数の図書館が参加し、オンラインによる分担目録作業を行うシステムを提供する図書館向けのサービス機関で、分担目録システムなどのデータベースを提供する。
- ・ 分担目録作業に参加する図書館は、少ない労力で目録データが入手でき、同時に書誌ユーティリティには総合目録データベースが形成される。

☆ 大学図書館にとっての標準的な書誌ユーティリティが、国立情報学研究所（N I I）が提供する N A C S I S - C A T である。

## ◆ N I I（国立情報学研究所）とは

N I I

=National Institute of Informatics

- ・わが国唯一の学術総合研究所として、情報関連分野の新しい理論・方法論から応用展開までの研究開発を総合的に推進。
- ・大学共同利用機関として、研究・教育活動に不可欠な学術情報基盤（学術情報ネットワークやコンテンツ）の事業を展開。
- ・学術情報流通を促進させるため、学術情報を収集・提供。  
（『国立情報学研究所要覧』平成21年度版より）

## ◇ N A C S I S - C A T / I L L のほかに、図書館関連では…

- ・ CiNii（NII論文情報ナビゲータ）
  - ・ JAIRO（学術機関リポジトリポータル）
  - ・学術コンテンツ登録システム
  - ・学術情報ネットワーク（SINET3）
- など…

- ◆総合目録データベース（NACSIS-CAT）とは  
NACSIS  
=National Center for Science information Systems  
CAT  
=CATaloging system

総合目録データベースとは、全国の大学図書館等が所蔵する  
図書，逐次刊行物等についての目録所在情報をデータベース  
化したものである。

（『目録情報の基準』 p. 11より）

- ◆総合目録データベース形成の目的
  - ・ 書誌情報の共有を行い、大学図書館等における目録業務の負担を軽減すること
  - ・ 形成された目録所在情報によって、資料の共用を促進すること（NACSIS-I LL）

（『目録情報の基準』 p. 11より）

## ◆ N A C S I S - C A T の特徴

### ☆ オンライン共同分担入力方式

- ・ オンライン → 迅速なデータ登録  
→ 最新の目録所在情報の提供
- ・ 共同分担 → 個々の図書館での目録作成の重複を防ぐ  
→ 目録業務の負担軽減



- ・ N A C S I S - C A T の書誌情報を利用して各館の目録  
( O P A C ) 情報を作成できる
- ・ 相互利用業務の迅速化・効率化  
相互利用 = 図書館間相互貸借 = I L L ( Interlibrary Loan )

## ◆ N I I 及び N A C S I S - C A T の沿革（抜粋）①

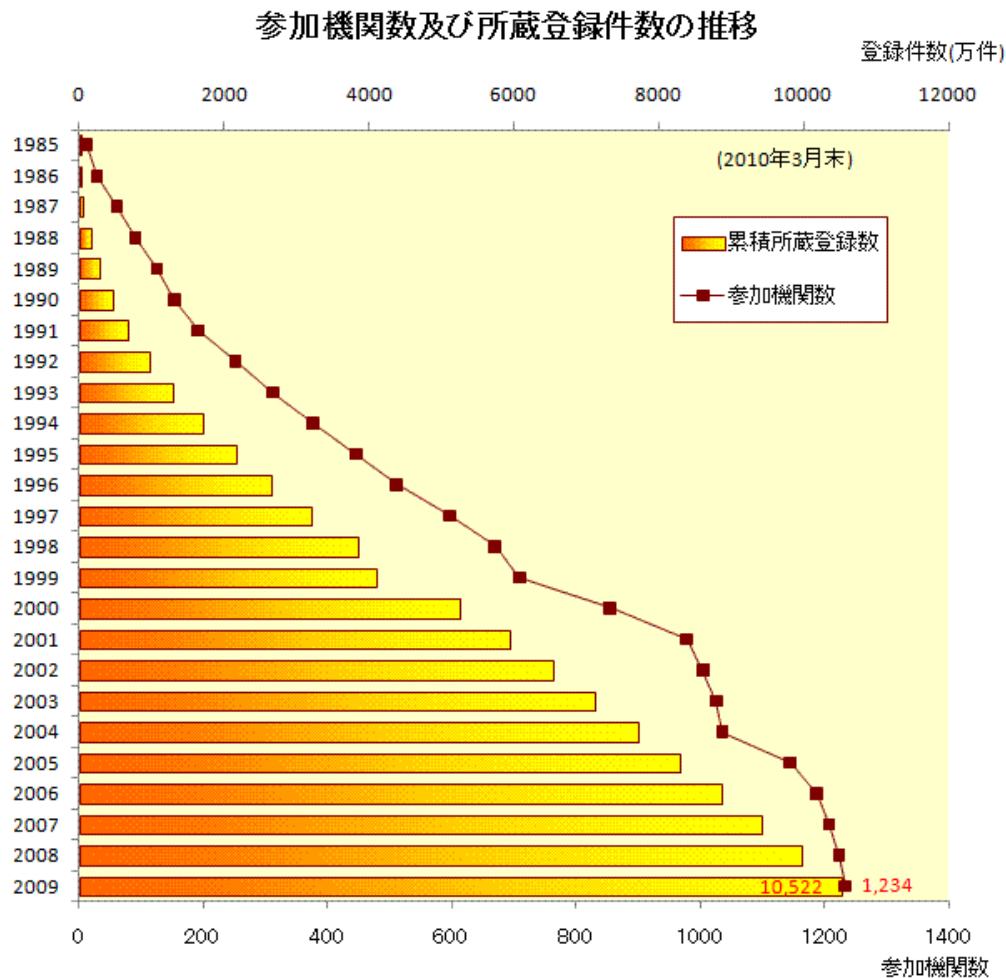
- 1976. 5 ・ 東京大学情報図書館学研究センター発足
- 1983. 4 ・ 東京大学文献情報センター（東京大学情報図書館学研究センターの改組・転換）発足
- 1984. 12 NACSIS-CAT稼働
- 1985. 4 NACSIS-CAT運用開始
- 1986. 4 ・ 学術情報センター発足
- 1988. 1 和雑誌システム（登録機能）運用開始
- 1988. 7 洋雑誌システム（登録機能）運用開始  
目録システムの呼称に「NACSIS-CAT」を採用
- 1992. 4 NACSIS-ILLシステム運用開始
- 1992. 6 利用規則改訂（利用者に短大・高専を追加）
- 1993. 8 利用資格拡大（大学等以外の図書館を追加）
- 1997. 4 Webcat試行サービス開始  
CAT和洋ファイル統合
- 1997. 11 新CAT開始
- 1998. 4 新ILL開始  
Webcatサービス開始

## ◆ N I I 及び N A C S I S - C A T の沿革（抜粋）②

- 2000. 1 CAT/ILL多言語対応
- 2000. 2 ・ 東京都千代田区一ツ橋に移転
- 2000. 4 ・ 国立情報学研究所に改組
- 2001. 1 Webcat多言語対応
- 2002. 10 Webcat Plus 試行サービス開始
- 2003. 7 アラビア文字資料運用開始
- 2004. 9 書誌ユーティリティ課題検討PT（～2005. 9）
- 2004. 12 旧CAT（VTSS方式）終了
- 2005. 4 Webcat Plus 正式サービス開始
- 2007. 2 全国漢籍データベースとWebcatとのリンク
- 2007. 7 図書館連携作業部会（及び次世代目録WG）発足
- 2008. 3 次世代目録所在情報サービスの在り方について中間報告
- 2008. 7 所蔵（図書＋雑誌）レコード1億件突破
- 2009. 3 次世代目録所在情報サービスの在り方について最終報告
- 2009. 4 図書所蔵レコード1億件突破

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/history.html>より抜粋

# ◆NACSIS-CATの概要



## ◇NACSIS-CAT接続機関

(2010年3月31日現在)

- 国立大学 86
- 公立大学 75
- 私立大学 556
- 短期大学 138
- 高等専門学校 54
- 大学共同利用機関 16
- 海外機関 107
- その他 202
- 合計 1,234

## ◇平日1日あたりの登録状況等 (2009年度 平日(月～金))

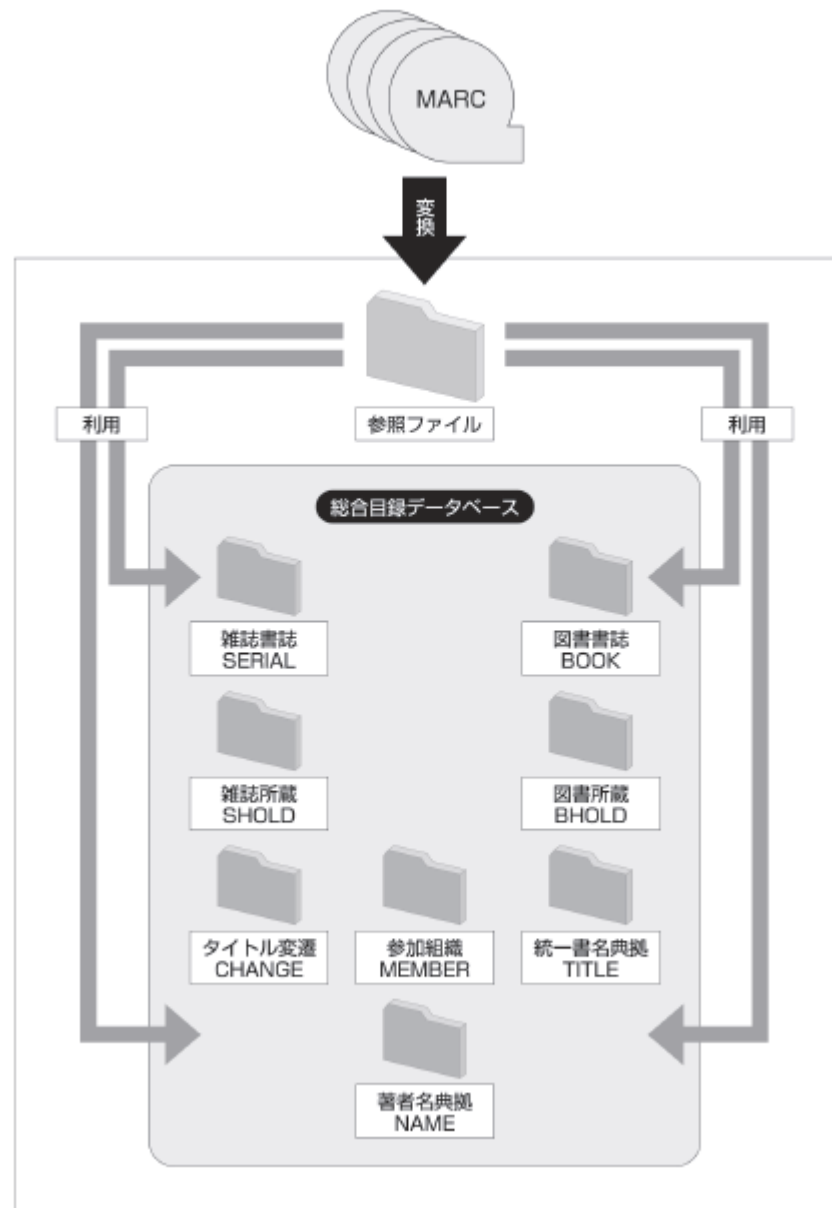
- 書誌・所蔵登録数
  - 図書書誌：約1,300
  - 図書所蔵：約21,000
  - 雑誌書誌：約20
  - 雑誌所蔵：約400
- 同時接続端末数
  - 約5,000

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/stats/cat/transition.html>より



## ◆総合目録データベースの構成 ①

- ・ ファイル  
レコードを入れる入れ物
- ・ 参照ファイル
  - ・ 他の目録作成機関で作成されたMARCを、NACSIS-CATのレコード形式に合わせて変換したもの。
  - ・ 書誌レコードの新規作成時に参照（流用）して、入力作業を軽減することができる。
- ・ 図書書誌レコード
  - ・ 参加館共有のデータ
  - ・ 書誌1件に1レコード作成
- ・ 図書所蔵レコード
  - ・ 各参加組織固有のデータ
  - ・ 1書誌レコードに対して〈参加組織+配置コード〉毎に1レコード作成



(目録システム講習会テキストより)

## ◆総合目録データベースの構成 ②

### ・著者名典拠ファイル

著者名標目形を統制し、著者名情報を一元的に管理するファイル

### ・統一書名典拠ファイル

古典・聖典・音楽作品等のタイトルを制御し、そのタイトルに関する情報を一元的に管理するファイル

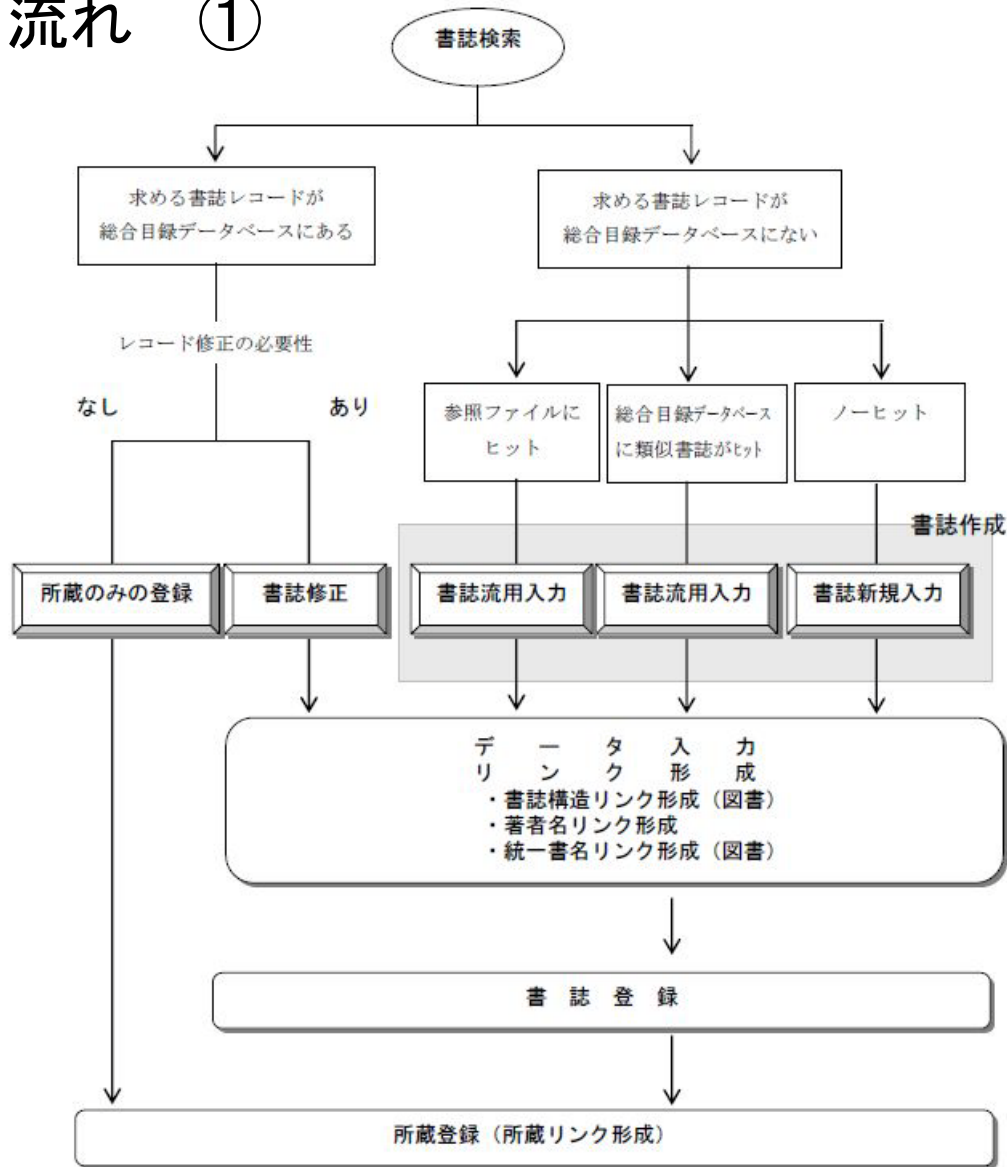
### ・参加組織ファイル

NACSIS-CAT/ILLの参加館に関する情報を管理するファイル

### ・リンク形成

- ・関連する各レコードは相互に参照できるように「リンク」によって結びついている。
- ・書誌と所蔵、書誌と著者名典拠、書誌と統一書名典拠  
書誌と書誌（シリーズ等書誌階層のある場合）

# ◆ 目録業務の流れ ①



(目録システム講習会テキストより)

## ◆ 目録業務の流れ ②

- ・ 手元の資料を検索し、  
「あれば使う、なければ新規にレコードを作成する」
- ・ なければ
  - ・ データを書誌レコードに記述する。
  - ・ 必要に応じ、書誌構造リンク（書誌階層がある場合は必須）、著者名リンク、統一書名リンクを形成する。
  - ・ 書誌レコードを総合目録データベースに登録する。
- ・ 所蔵レコードを総合目録データベースに登録する。
- ・ 必要なレコードを自館のデータベースにダウンロードし、自館の書誌及び所蔵レコードを作る。
  
- ・ 総合目録データベースのヒット率は約9割、よって、実際の業務においては、多くが「あれば使う」のパターン。
- ・ が・・・資料の性質によってはヒット率は大幅に下がる。

## ◆目録業務におけるドキュメント（マニュアル類）①

### ◇NACISIS-CAT関連マニュアル

- 目録情報の基準 第4版（1999.12）

データベースの構造等について解説し、データ作成のための原則、考え方を提示するもの。

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN/KIJUN/ki jun4.html>

- コーディングマニュアル

総合目録データベースにレコードを登録する際のデータ記入の具体的方法を解説するもの。

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN2/CM/mokuji.html>

- 目録システム利用マニュアル 第5版（2003.3）

目録システムにおける検索や目録・所在情報の登録（目録登録）について解説するもの。

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/MAN2/MAN5/CAT5/mokuji.html>

- 目録システム利用マニュアル 入門編（1999.3）

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/pdf/intro.pdf>

## ◆目録業務におけるドキュメント（マニュアル類）②

### ◇目録規則関係

1. 日本目録規則1987年版改訂版（NCR87R3）  
（1994年）
2. 国立国会図書館「日本目録規則」適用細則
3. 英米目録規則第2版（AACR2）  
（1988年改訂、1993年修正）
4. 米国議会図書館目録規則適用細則（LCRI）  
（Library of Congress Rule Interpretations）

### ◇以上が総合目録データベースが準拠する目録規則。

タイトルの言語が日本語、中国語、韓国朝鮮語の資料については1. 2. に準拠、それ以外の言語の場合は3. 4. に準拠する。

## 4. 目録業務の実際と問題点

### ◆目録業務の内容

- データ作成  
NACSIS-CATシステムとローカルシステムを使用してデータを作成する。
- 請求記号の決定
- 装備  
資料IDラベル、請求記号ラベルを貼付する、など。
- その他
  - レコード調整
  - 遡及入力
  - 講習会、研修会への参加 …スキルアップ
  - 目録業務の方針・計画の策定
  - 委託整理（外注）の検討、管理 …マネジメント
  - システム更新への関わり
  - 後進の指導、育成

## ◆ 目録業務の現状 ①

- 業務内容の変化 … 目録業務の負担軽減と簡略化
  - 共同分担入力
  - 目録の形態の変化
    - … 冊子体、カード目録からオンライン目録へ
- それでも習熟するには相応の知識と一定の期間が必要
  - NACSIS-CATの操作法・規則の習得
  - 外国語資料の目録（ことばの問題）
  - 古典籍の整理 など…
- 目録担当職員の減少  
担当枠が減少→経験するチャンスも減少
- 非常勤、外注・派遣の投入、業務委託の導入  
装備付き（書誌データ付き）納品



## ◆ 目録業務の現状 ②

- 研修・教育体制の確立が必須
  - 研修・教育の非効率性
    - 個々の要員に対する個別のものになりがち
    - スキルが継承されにくい状況
- 図書館組織総体として、目録作成能力の低下に . . .
  
- 目録担当者の業務ウェイトの変質
  - 研修・教育
  - 業務委託のマネジメント
- 図書館職員に目録のわかる人間がいなくなる恐怖 . . .
- 目録のスキルを組織に還元する回路を意識

## ◆ NACSIS-CATにおける課題・問題点

- ・ 品質の低下（重複レコードの問題）
- ・ レコード調整業務に伴うレコード作成館の負担
- ・ 共同構築・相互利用という理念に対する意識の低下

## ◆ 解決に向けて NIIの対応

### ☆ 書誌ユーティリティ課題検討プロジェクト

（2005.4に中間報告、2005.10に最終報告）

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/kadaipt.html>

- ・ NACSIS-CAT/ILL運用ガイドラインの周知徹底
- ・ 講習会等に関する検討
- ・ 図書書誌レコード調整方式の検討
- ・ 仕様書モデルの提示
- … 目録業務外注仕様書モデルの公開について

## ◆目録業務関係の講習会・研修会

### ◇NACSIS-CAT関連

- ・目録システム（地域）講習会 3日間
- ・NACSIS-CAT/ILLワークショップ 3日間  
今年度は12/8-10 12名 テーマ「目録業務のマネージメント」
- ・NACSIS-CAT/ILL セルフラーニング教材  
目録システム講習会の自習教材。申込制で一般利用も可  
<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/product/cat/slcat.html>

### ◇特定分野の目録に関して

- ・漢籍担当職員講習会 初級・中級 各5日間  
主催：京都大学人文科学研究所附属東アジア人文情報学研究センター
- ・日本古典籍講習会 3日間  
主催：国文学研究資料館、国立国会図書館（共催）
- ・西洋社会科学古典資料講習会 4日間  
主催：一橋大学社会科学古典資料センター

## 5. 目録の将来と課題

### ◆新しい目録原則と目録規則

- 新「国際目録原則覚書」 (国際図書館連盟 (IFLA) 目録分科会)
  - パリ原則 (1961年) に代わる新しい目録原則
  - 2009年2月刊行
  - 日本語版公開  
[http://archive.ifla.org/VII/s13/icp/ICP-2009\\_ja.pdf](http://archive.ifla.org/VII/s13/icp/ICP-2009_ja.pdf)
- AACR2の改訂
  - RDA (Resource Description and Access) に名称変更
  - 2010年6月に公開開始 <http://www.rdatoolkit.org/>
- FRBR (Functional Requirements for Bibliographic Records)
  - 1997年発表 2008年小改訂
  - 日本語版『書誌レコードの機能要件』 (2004年3月 日本図書館協会)  
<http://archive.ifla.org/VII/s13/frbr/frbr-jp.pdf>
  - 「書誌的世界」の概念モデル

## ◆ N I I の動き

### ◇次世代目録ワーキンググループの活動

<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/project/catwg.html>

#### ○大学図書館界を取り巻く環境の急激な変化 ～ 現状分析

1. 電子的情報資源の拡大とそれに伴う情報の「粒度」の変化
2. 電子的情報資源の量的、質的両面での目録記述の困難さ
3. 電子的情報資源間のリンク可能性の増大
4. 電子情報資源の増大に伴う利用者行動スタイルの変化
5. 図書館システムの複雑化
6. 参加機関における経営合理化の要請と業務の多様化への対応体制

## ○検討事項

- ・ 電子情報資源への対応
- ・ データ構造の見直しとAPIの公開をめぐって
- ・ 運用：体制の抜本的見直し
  - ・ NACSIS-CAT外に存在する書誌データの活用
  - ・ 共同分担方式の最適化に向けた見直し（案）
    - ・ 「目録センター」館の指定
    - ・ インセンティブモデルの導入
    - ・ 参加機関の機能別グループ化

☆次世代目録所在情報サービスの在り方について（最終報告）  
（平成21年3月）より

[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/project/catwg\\_last.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/project/catwg_last.html)

## ◆次世代OPACについて ①

- ・2006年ごろから北米を中心にOPACの機能革新への動きが活発化。

(「次世代目録所在情報サービスの在り方について (最終報告) p. 16-17」)

- ・具体的には、以下のような機能を実装したもの
  1. 簡略な検索画面 …Googleライク
  2. キーワード入力補助 …スペルチェック、自動修正など
  3. 関連キーワードの視覚化 …タグクラウドなど
  4. レlevanceランキング …入力語に関連度の高いものから表示
  5. 書誌情報の拡張 (増強) …書影、目次、内容紹介など
  6. ファセット型ブラウジング …絞り込み用のメニューを表示
  7. FRBR化表示 …様々な「版」をまとめて構造化
  8. 利用者による情報入力 …タグ、コメント、レビューなど
  9. レコメンデーション …Amazon流の「おすすめ」
  10. 他のDBとの統合検索

## ◆次世代OPACについて ②

- ・「使いやすいOPAC」への指向の体現
  - ・ 検索システムで解決可能な機能
  - ・ データ構造や目録規則等の見直しを伴わなくてはならない機能
- ・ 利用者サービス、システム業務、目録業務に関連

### ☆参考

京都大学図書館機構平成21年度第2回講演会「次世代OPACを考える  
—目録情報の視点から—」（大学図書館近畿イニシアティブ協賛）

<http://www3.kulib.kyoto-u.ac.jp/kenshu/archive/091127kouenkai/index.html>



# さいごに

## ◆目録（業務）と利用者サービス

### ◇サービス担当者にとって

- ・目録の内容、自館の分類を理解・把握しているか
  - ・資料がどこにあるか
  - ・OPACのみかた
- ・利用者と資料を結びつける手助け

### ◇情報リテラシー教育

- ・OPAC利用法指導

## ◇ 目録担当者にとって

- ・ 「何のため、誰のための目録か？」
- ・ 「自館のOPACは本当に利用者にとって使いやすいものか？」

## ◇ 「資料組織」の意義・原点を忘れずに・・・

### ◆ 参考図書

- ・ 大学図書館の仕事制作委員会編『知っておきたい大学図書館の仕事  
：現場に即した業務ガイドブック』エルアイユー，2006.4
- ・ 木原通夫，志保田務，高鷲忠美『資料組織法』第6版 第一法規，2007.3
- ・ 柴田正美『資料組織概説』日本図書館協会，2008.1